



# HIROKI YOSHIDA

OFFICIAL RELEASE

Race	SUPER GT Rd.1
	OKAYAMA GT 300km RACE
Date	2015.04.04-05
Race Track	OKAYAMA INTERNATIONAL CIRCUIT
Team	RUNUP Group & DOES GT-R



## 惜しくも Q2 進出はならず、予選 14 位から決勝の追い上げを狙う。

いよいよ 2015 シーズンが開赛しました。

今シーズンも昨シーズンに引き続き、SUPER GT 選手権に「RUNUP・WITH・DOES GT-R」として参戦できることになりました。マシンのベースは昨年と同じ NISSAN GT-R NISMO GT3 ですが、2015 年モデルへとアップデートされ大幅な戦闘力アップが見込まれます。また RUNUP チームからの参戦も 2 年目となり、チームオーナー兼ドライバーの田中選手やエンジニアさん、メカニックさんとのコミュニケーションもより良い環境になったと思います。その 2 年目のチャンスを頂けたという意味をしっかりと考え、今シーズンに挑みたいと思います。

### 2015.04.04 FREE PRACTICE (フリー走行 19 位 / 28 台中) WEATHER : WET→DRY

シーズンの幕開けは WET コンディションの走行となりました。

この日は前日の雨が残り、WET 路面でセッションがスタート。徐々にコンディションの回復が見込まれましたが、翌日の日曜日が雨予報だったため WET セッティングの確認も含め走行を開始しました。マシンバランスを確認しながらの走行となりましたが、すぐに路面コンディションが DRY へと変化していきます。

今年からフリー走行の時間も短くなったため、ここで田中選手と交代しお互いのフィーリングを確認し合います。途中赤旗で走行時間がさらに短くなったこともあり、急遽予選に向けたタイヤの選択とセッティングの確認のためアタックし、19 番手でフリー走行を終えました。



### 2015.04.04 QUALIFYING (公式予選 14 位 / 28 台中) WEATHER : DRY

午後に入り、路面コンディションは完全に DRY になりました。

今年も 20 分間で行われる Q1 で 13 位以上に入ると Q2 へ進出できる予選方式となります。朝のフリー走行の結果から、予選で使用するタイヤ、セッティングをチョイスし私が Q1 でアタックさせて貰うことになりました。フリー走行でアタックしたタイヤとは違うコンパウンドのタイヤで走ることにしたため未知な部分はありませんでしたが、自分の中でイメージし徐々にタイヤを温めアタックしました。

その結果、1'28.179 というタイムでフリー走行のベストより約 1 秒タイムを縮めることが出来ましたが、Q2 に進出できる 13 位には 0.1 秒足りません。その為もう一度クールラップを挟みアタックしたのですが、タイムアップは叶わず 14 位で公式予選を終えることとなってしまいます。

Q2 に控えていた田中選手にバトンを渡すことが出来ず、悔しさと申し訳ない気持ちでいっぱいでした。



## SPONSOR





# HIROKI YOSHIDA

OFFICIAL RELEASE



## RUNUP WITH DOES GT-R での開幕戦は悔しい 24 位完走。

2015.04.05 RACE (決勝 14 位 / 28 台中)

WEATHER : WET

前日からの予報通り朝から雨空の中、朝のフリー走行がスタートしました。

午後の決勝に向けて燃料を積んだ状態でセッティングの確認を行っていきます。短いフリー走行のためセッティングを詰めることは出来ませんでした。田中選手とマシンのバランスを確認しセッティングの方向性だけ見直します。

午後に入りスタート時間が迫るにつれ、雨が止みコンディションが変化していくため、タイヤ選択とセッティングの方向性が難しくなっていきます。私達はスタート直前まで迷いましたが、スリックタイヤを選択するチームが現れる中、インターミディエイトのタイヤを選択しレースに挑みました。

1 周のパレードラン、フォーメーションラップの後、2015 シーズンの開幕戦が幕を開けました。

スタートしてすぐの混乱の中、2 つほどポジションをあげ 12 位にあがります。そのままの勢いで 3 周目には 11 位となり、ここからは徐々に周回を重ねます。この時点では雨が止んでいたため、スリック勢の方がタイムが速くなる場面もありましたが、ひたすらタイヤを保たせることを考え、水を探しながら走行を続けました。

自分のステイも後半になると、タイヤを守っていたお陰が前方を走っていた他チームの 2 台に追いつき、9 位にポジションを上げることが出来ました。

しかし、ここら辺から再度雨が降り始めたため、ボロボロになったインターではコース上に留まるのも難しい状況となってきます。このタイミングでレースも折り返しを過ぎていたため、ピットインし田中選手に交代、タイヤもレインタイヤへと交換し再びコースに戻って行きました。ピットイン中、GT-R の弱点でもある燃費が悪くなったため給油時間が長引き、コースに戻ると少しポジションを落としてしまいました。

ここから田中選手がポジションを守り 12 位で走行を続けていたのですが、残り周回が 15 周くらいになった時点でマシンに普段出ないような振動が発生してしまいます。走り続けると徐々に振動が大きくなったため、緊急ピットインし原因を探ります。マシンチェック後、再びコースインし状況を確認して貰いましたが症状はよくなりず、ここでリタイヤとなってしまいました。

レース周回の 70%以上を周回していたため完走扱いになりましたが、ペースが良かっただけに悔しさがこみ上げてきます。このトラブルまでは路面コンディションがコロコロと変化するタフなレースでしたが、チームも昨年からの進歩しうまくレースを運んでいたと思います。

開幕戦としては残念な結果ですが、次戦は GT-R に合っている富士スピードウェイとなります。ここでチーム一丸となり、確実に結果に繋がりたいと思います。今後も引き続き、新たなスタートを切った「RUNUP・WITH・DOES GT-R」の応援よろしくお願ひ申し上げます。

 吉田 広樹



### SPONSOR

